

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名称)	全右所在地	支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	所屬部隊作戦經 過ノ概要	終戦(又ハ主力 ノ戦闘終了) 後ノ概況	先 歸郷(又ハ連絡)	其ノ他ノ参考事 項	備 考	職官	姓名	終戦時ノモノヲ 記ス
									職官	姓名	終戦時ノモノヲ 記ス
陸軍省第四野戦軍司令部 陸軍省第四野戦軍司令部 陸軍省第四野戦軍司令部	津浦線沿線各所	昭和十九年十一月十七日 津浦線沿線各所 第四野 戦軍司令部 同病院附	昭和十九年八月十二日 編制完了 第四十八師團司令部 第四野戦軍司令部 編制	昭和十九年十月三十日 津浦線沿線各所 上陸後 昭和二十一年一月十日 至九月間 警備業務 第四野戦軍司令部 任職ス	終戦後 昭和二十一年一月十日 近野戦病院 兼 務 終戦 同年一月三十日 津浦線本島 任職 収容所 入所 同年三月二十七日 浦賀 収容所 入所			將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	陸軍省第四野戦軍司令部 第四野戦軍司令部 第四野戦軍司令部		職ノ變更及主ナ ル参加戦闘名ヲ 記ス
					歸還輸送ノ状況 ヲモ併記ス						

55

55

史 實 調 査 參 考 資 料 報 告

摘 要

所 屬 部 隊 (固 有 名)	全 右 所 在 地	支 那 事 變 以 降 二 於 ケル 自 己 ノ 略 歴	所 在 部 隊 ノ 編 成 年 月 日 及 編 制 裝 備 ノ 概 要	所 屬 部 隊 作 戰 經 過 ノ 概 要	終 戦 (又 ハ 主 力 ノ 戦 闘 終 了) 後 ノ 概 況	歸 郷 (又 ハ 連 絡) 先	其 ノ 他 ノ 參 考 事 項	備 考
大 陸 師 團 才 四 野 戰 院	沖 繩 界 首 古 郡	昭 和 十 四 年 十 月 廿 日 志 府 分 隊 野 戰 院 勅 務 昭 和 十 五 年 七 月 三 日 澄 口 才 三 井 站 野 戰 院 勅 務 昭 和 十 六 年 七 月 三 日 澄 口 才 三 井 站 野 戰 院 勅 務 昭 和 十 九 年 八 月 五 日 才 三 井 站 野 戰 院 勅 務	昭 和 十 九 年 八 月 十 五 日 編 成 定 了 ) 才 三 井 師 團 才 四 野 戰 院 編 成	行 隊 收 留 昭 和 十 五 年 十 月 廿 日 野 戰 院 勅 務 行 隊 同 年 十 月 廿 三 日 沖 繩 界 首 古 郡 野 戰 院 勅 務 昭 和 十 六 年 同 年 十 月 廿 七 日 沖 繩 界 首 古 郡 野 戰 院 勅 務 昭 和 十 七 年 同 年 十 月 三 十 日 沖 繩 界 首 古 郡 野 戰 院 勅 務 昭 和 十 八 年 同 年 十 月 三 十 一 日 沖 繩 界 首 古 郡 野 戰 院 勅 務 昭 和 十 九 年 同 年 十 月 三 十 二 日 沖 繩 界 首 古 郡 野 戰 院 勅 務	行 隊 收 留 昭 和 十 五 年 十 月 廿 日 野 戰 院 勅 務 行 隊 同 年 十 月 廿 三 日 沖 繩 界 首 古 郡 野 戰 院 勅 務 昭 和 十 六 年 同 年 十 月 廿 七 日 沖 繩 界 首 古 郡 野 戰 院 勅 務 昭 和 十 七 年 同 年 十 月 三 十 日 沖 繩 界 首 古 郡 野 戰 院 勅 務 昭 和 十 八 年 同 年 十 月 三 十 一 日 沖 繩 界 首 古 郡 野 戰 院 勅 務 昭 和 十 九 年 同 年 十 月 三 十 二 日 沖 繩 界 首 古 郡 野 戰 院 勅 務	[Redacted]	[Redacted]	將 校 ニ 記 載 セ シ 第 一 復 員 省 史 實 部 ニ 送 付 ス
終 戦 時 ノ モ ノ ラ 記 ス	職 ノ 變 更 及 主 ナ ル 參 加 戰 闘 名 ラ 記 ス	最 後 ノ 所 屬 部 隊 ヲ 主 ニ シ 向 ツ ノ 以 前 ノ 所 屬 部 隊 ノ 分 ラ モ 概 記 ス	歸 還 輸 送 ノ 状 況 ヲ モ 併 記 ス					

史 實 調 查 參 考 資 料 報 告

摘 要

所 屬 (部 隊 固 有 名)	全 右 所 在 地	職 官	終 戰 時 ノ モ ノ ヲ 記 ス
三 大 師 團 第 四 野 砲 隊	沖 總 隊 第 三 砲 隊	[Redacted]	[Redacted]
支 那 事 變 以 降 ニ 於 ケ ル 自 己 ノ 略 歷	<p>昭和十四年十一月廿七日迄有分隊編成勤務  昭和十五年七月三日迄有分隊編成勤務  昭和十六年七月三日迄有分隊編成勤務  昭和十九年八月三日迄有分隊編成勤務</p>	職ノ變更及主ナル參加戰團名ヲ記ス	[Redacted]
所 在 部 隊 ノ 編 成 年 月 日 及 編 制 裝 備 ノ 概 要	<p>昭和十九年八月十五日編成  (昭和十九年八月十五日編成)  才三師團才四野砲隊編成</p>	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス	[Redacted]
所 屬 部 隊 作 戰 經 過 ノ 概 要	<p>行 隊 收 容 和 平 年 十 月 廿 日 野 砲 隊 普 務  經 虎 岡 十 月 廿 三 日 沖 砲 隊 向 皇 軍 收 容  所 三 大 師 團 同 年 十 月 廿 七 日 浦 隊 收 容 所 三 大 師 團  昭和十九年十一月十日沖總隊官古高三上陸昭和  二十一年十一月十日三至八日有松浦及浦隊勤務  ヲモ併記ス</p>	歸 還 輸 送 ノ 狀 況 ヲ 併 記 ス	[Redacted]
終 戰 (又 ハ 主 力 ノ 戰 闘 終 了) 後 ノ 概 況	<p>行 隊 收 容 和 平 年 十 月 廿 日 野 砲 隊 普 務  經 虎 岡 十 月 廿 三 日 沖 砲 隊 向 皇 軍 收 容  所 三 大 師 團 同 年 十 月 廿 七 日 浦 隊 收 容 所 三 大 師 團</p>	[Redacted]	[Redacted]
先 歸 郷 (又 ハ 連絡)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其 ノ 他 ノ 參 考 事 項	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
備 考	將 校 ニ 記 載 セ シ ヲ 第 一 復 員 省 史 實 部 ニ 送 付 ス		

史實調査參考資料報告

摘要

所屬(部隊固有名稱)	全右所在地	氏名	終戦時ノモノヲ記ス
第二十八師団第四野戰病院	沖繩縣宮古島	[Redacted]	病院附 軍医大尉
支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	昭和三十二年十月十四日 輜重兵第一聯隊ニ在リ 以テ引續キ野戰病院附、東京オニ陸軍病院附等ニ在任 (オ十三師団オニ) 昭和三十七年十二月十六日 召集解除 昭和十九年八月五日 オ八師団オ四野戰病院附要員トシテ 東京オ六十四部隊ニ在リ 宮古島ニ到リ今日ニ至ル	昭和三十九年八月十二日	職ノ變更及主ナル參加戰團名ヲ記ス
所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	昭和三十九年八月十二日 オ四野戰病院	[Redacted]	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス
所屬部隊作戦經過ノ概要	宮古島 宇備	[Redacted]	[Redacted]
終戦(又ハ主力ノ戰團終了)後ノ概況	終戦後 昭和三十二年十二月十九日迄 野戰病院勤務 昭和三十二年十二月十四日 沖繩本島屋嘉收案所ニ入所 昭和三十二年三月二十七日 浦賀着陸	[Redacted]	歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス
先 歸郷(又ハ連絡)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其ノ他ノ參考事項	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	[Redacted]	[Redacted]

min



史實調査參考資料報告

備考	其ノ他ノ參考事項	先	歸郷(又ハ連絡)	終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	所屬部隊作戦經過ノ概要	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	所屬部隊(固有名)		職官	氏名	全右所在地	摘要
								終戦時ノモノヲ記ス	終戦時ノモノヲ記ス				
將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス				終戦後昭和二十一年一月十日迄病院勤務 経續、同年一月二十三日宮古島出發、二十三日沖繩本島着、三月二十三日屋嘉牧客所ニ下所、三月二十七日浦賀客所ニ下所	昭和十九年十月二十日沖繩県宮古島上陸后昭和二十年一月十日迄、醫院勤務、並ニ病院事務	昭和十九年八月十二日、第一八師團第二野戰病院編制	昭和十九年十月二十日伊良部島ニ下所、二野戰病院開設 2. 昭和二十年三月二十日、第一八師團司令部ニ下所、八日迄宮古島陸軍病院、業務担当 3. 昭和二十一年一月八日現部隊ニ轉属	第二十八師團 第四野戰病院	衛生部員		沖繩県宮古島	職ノ變更及主ナル参加戦闘名ヲ記ス	終戦時ノモノヲ記ス
				歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシテ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ併記ス								

32